

えいらい

No.10

平成 23 年 12 月発行
発行元／財団法人永頼会 松山市民病院冬号
2011〒790-0067 愛媛県松山市大手町 2 丁目 6-5 TEL / 089-943-1151 FAX / 089-947-0026
発行責任者／院長 山本祐司 編集／松山市民病院広報委員会

医療事務部の近況報告



医療事務部長 玉野 祐仁

平成23年4月より医事課を改め医療事務部となり、外来課・入院課・会計課・企画課・地域連携室の総勢52名で構成されています。日々、患者さんへのサービスの提供をはじめとして、受付・保険証の確認・カルテの準備・書類の整理・診療報酬明細書の作成業務などを主に行っています。

私たちは患者さんが病院を訪れて最初に接する窓口となります。患者さんに満足いただけるように常日頃より病院の顔としての自覚を忘れないように業務に取り組んでいます。

現在、病院の診療体系は医師・看護師・コメディカルといったチームワークによる医療の提供を行っており、平成22年7月よりDPC算定病院になりました。そこでいかにスムーズにチーム医療が行えるか企画・提案をしていくのが事務の役割と考えており、企画課を4月に発足させました。他の医療機関と当院ではどこがどのように違うのかベンチマークを取り入れ、市民病院の地域性を考えながら質を落とさず最適な医療が提供できるよう、日々研究し事務部から提案が発信できるように考えています。

さて、当院の近況報告と致しましては、地域社会にいかに貢献できるかを考えていく上で、医療機関におけるIT化は避けては通れないものと考えており、医療の動向を見据えつつ、地域医療連携ネットワークの構想実現に向け

準備を整えております。地域医療連携ネットワークとは、当院に設置する認証サーバーの認証を経て仮想プライベートネットワークに接続後、ネットワークにアクセスし、専用ポータル画面から当院閲覧サーバー（地域連携サーバーなど）にアクセスし、当院での診療情報を開業医の先生方が閲覧できるようにするものです。

現在、当院のオーダリングメーカーの協力の下、地域連携ネットワーク構築に向け院内外の有識者の協力をおおぎ準備を進めています。個人情報の保護に関する法律を遵守したうえで、開業医の先生方と地域の皆様方の共同診療が可能なのではないか、また当院からの逆紹介の際にも、患者さんの満足度や信頼に応えることができると思います。そのために地域連携室の強化が急務です。

松山市民病院の理念は、地域住民のために存在すること、高度急性期医療をめざすこと、思いやりの医療を持って地域社会に貢献することを掲げており、地域住民のみなさんに信頼され、質の高い医療の提供を効率的に出来るよう求められています。

患者さんのため、病院のために出来ることを考え実践し、高齢社会で厳しくなりつつある医療現場を支える部署として、医療事務部の一人ひとりがスキルを高める努力を続ける所存です。